



平成 20 年 11 月 21 日

各位

**クリングルファーマ株式会社が参画する研究課題が  
「先端医療開発特区(スーパー特区)」に採択されました**

クリングルファーマ株式会社(本社:大阪府豊中市、代表取締役社長:岩谷邦夫、以下「クリングルファーマ」)は、中枢神経系疾患を対象とするHGF(Hepatocyte Growth Factor: 肝細胞増殖因子)組換え蛋白質の医薬品開発を進めております。この度、当社が参画する研究課題である「中枢神経の再生医療のための先端開発プロジェクトー脊髄損傷を中心にー」(代表者:岡野栄之 慶應義塾大学生理学教授)が、内閣府より「先端医療開発特区(スーパー特区)」に採択されたことをお知らせします。

本プロジェクトは、脊髄損傷、脳梗塞、筋萎縮性側索硬化症といった未だ有効な治療方法が確立されていない中枢神経系疾患領域において、我が国で発見、開発された薬剤や細胞を用いた基礎研究をもとに、これら疾患の再生医療実現を目指すものであり、大学、研究機関、製薬企業、ベンチャー企業からなる複合体により推進されます。

本プロジェクトにおけるクリングルファーマの役割は、筋萎縮性側索硬化症および脊髄損傷へのHGF組換え蛋白質の臨床応用を、研究分担者として実施することにあります。

当社代表取締役岩谷邦夫は、「中枢神経系疾患は、現在有効な治療方法がないため、多くの患者さんが寝たきりや車椅子の生活を余儀なくされています。本プロジェクトは、日本発の薬剤により、これら疾患の再生医療実現を目指す画期的事業であり、当社が開発しているHGF組換え蛋白質がその一翼を担えることを大変嬉しく思います」と述べております。

クリングルファーマについて:

クリングルファーマは、大阪大学発創薬バイオベンチャーとして2001年12月に設立されました。大阪大学医学部の中村敏一名誉教授が発見したHGFおよびNK4の医薬品開発を通じ、新規のバイオ医薬品の開発に注力しています。現在、HGF組換え蛋白質を1)急性腎不全、2)皮膚潰瘍、3)難治性神経疾患の治療薬として、また、NK4組換え蛋白質とNK4遺伝子を新規制癌剤として医薬品開発を進めています。より詳細な情報は、当社ウェブサイト([www.kringle-pharma.com](http://www.kringle-pharma.com))をご覧ください。

問合せ先:

下條 智也

クリングルファーマ株式会社

経営企画本部長

電話 06-6831-3330、電子メール [info@kringle-pharma.com](mailto:info@kringle-pharma.com)